

デジタル間隙水圧計

S & D L 間隙水圧計



<概要>

地中の間隙水圧の測定は、沈下・安定の有効応力に基づく解析を行なう上で欠かせません。

本装置はチタン製圧力センサ - を採用し、高精度、高感度、そして長期安定性を有する間隙水圧計です。S&DL 間隙水圧計では、パソコンを用いて観測データ収録、測定条件の設定などを行ないます。

設置対象地盤は、軟弱な粘性土地盤と、ゆるい砂地盤です。その目安としては、粘性土地盤でN値4以下、あるいはシンウォールサンプリングの可能な地盤、砂地盤ではN値2以下の地盤を対象としています。

<特長>

内部システムが完全に脱気水で飽和されています。

圧力交換器に、半導体圧カトランスジューサを用い、高感度の交換を可能としました。地上のロガー部はセンサ - 部(埋設部)と切り離しができますので、再利用が可能です。パソコンにより、容易にデータの回収や測定条件の設定を行うことができます。

<用途>

間隙水圧の測定

軟弱地盤の安定解析

有効応力に基づく変形解析

地盤内応力分布の把握に基づく変形解析

<仕様>

センサ部

測定範囲 : 0~350kPa、0~500kPa、0~1000kPa、

測定精度 : ±0.2% F.S.

動作温度範囲 : -10~50

外形寸法 : 42×620mm

データロガー

A/D分解能 : 24ビット

測定間隔 : 1分~10日

メモリ容量 : 512KB

インターフェイス : RS-232C

電源 : 専用リチウム電池(6V)
または単一アルカリ乾電池×3個

動作温度範囲 : -10~50

ポラスストーン

材料 : セラミック

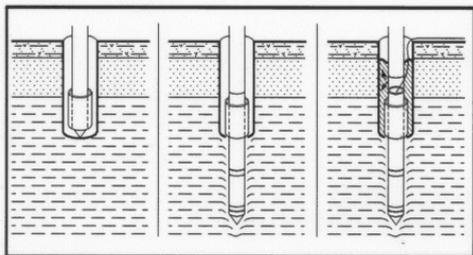
透水性 : 1.2×10^{-5} cm/sec

ケーブル

芯数 : 4芯、ペントチューブ付き

外径 : 8.5mm

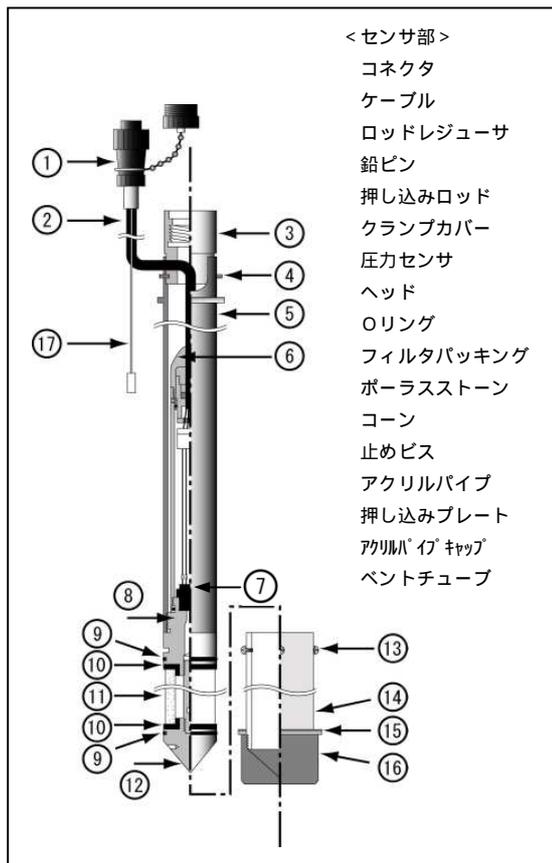
ケーブル長は50mまでが標準です。50m以上のケーブル長については別途お問い合わせください。



上図は、本器の設置方法を示した図です。

間隙水圧の観測中にポラスストーンの目詰まりやガスの混入があった場合は、信頼できるデータを得る上で最も問題になります。

つまり、ポラスストーンを如実に無垢のまま、ガスの混入することなく設置できるかということになります。運搬中に手で触れたり、挿入時に泥水につかることは好ましくありません。本器は透明プラスチックパイプを用いてこれらの問題をみごとに解決しました。プラスチックパイプはポラスストーンの保護として、容易に取扱うことができるようにするだけでなく、内部を完全な脱気水で満たしていますので、ガスの混入も排除されます。このプラスチックパイプは、挿入時に孔底ではじめて外されます。



<注意>

- 1) 本器を設置する場合、ロッドレジュースと押し込みロッドとを接続する鉛ピンで固定し、押し込むことにより鉛ピンが切断し、本器を地中に設置することができます。回収用として使用する場合は、押し込みロッドとロッドレジュースが一体となったものをご使用して下さい。
- 2) 間隙水圧計センサ部は、凍結・直射日光による温度変化等に注意してください。

応用地質株式会社

製品に関するお問い合わせは、計測システム事業部・サービス開発部にて承ります。仕様は製品改良のため、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



JQA-2772

計測システム事業部 サービス開発部
：茨城県つくば市御幸が丘43番地 ☎029-851-5026
ホームページ : <http://www.oyo.co.jp/> E-mail : seihin@oyo.jp
本社 : 東京都千代田区神田美土代町7番地 ☎03-5577-4501
東京支社 ☎048-652-4933 関西支社 ☎06-6885-6357
北海道支店 ☎011-863-6711 四国支社 ☎089-925-9516
東北支社 ☎022-237-0471 九州支社 ☎092-591-1840
中部支社 ☎052-793-8321

テクニカルサポートセンター お客様相談室
☎029-851-6564 ☎029-851-7290 ☎029-851-6574 ☎029-851-7290
月～金:受付時間 9:00～18:00、土日祝日及び年末年始はお休みさせていただきます。
本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規定並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。